

しみず



第41回清水園運動会

(令和7年10月29日開催)

玉入れ、勝ちたい!

発行所 坂出市西庄町1635番地1 社会福祉法人玉祉会

題字 故 高照院名誉住職 沼野 実人

発行人 瀧本 関雄

発行日 令和8年1月

印刷所 マルシマ印刷株式会社

年頭の挨拶

理事長
瀧本
関雄



新年あけましておめでとうございます。皆様方に、おかれましては、希望に満ちた輝かしいま

新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、私たちの救護施設清水園は、地域の皆様、関係機関の皆様、そして共に過ごす利用者の皆様の温かいご支援とご協力により運営できているものと感謝いたしております。

私は、令和5年11月に理事長に就任いたしましたが、これまでと変わらず「清水園の理念」である、1.「清水園」は地域と連携し、愛される施設を目指します。2.「清水園」は利用者に感謝される施設を目指すとともに、障がい者に対し愛情をもつて接します。3.「清水園」は人間の尊厳を尊重し、利用者の心身の健やかな育成を図ります。の三本柱の考え方を沿って、運営に努めてまいりますとともに、今後共「地域と共に歩む。」という経営理念を大切にしてまいります。

また、新型コロナウイルスの感染拡大は当園にも大きな影響をもたらしました。厚生労働省においては、新型コロナウイルス感染症を令和5年5月8日から5類感染症に位置付

理事長所感

理事長 瀧本 関雄

社会福祉法人玉祉会が運営する救護施設清水園の近況についてご報告します。

まず、入所者が減少傾向にあることについてです。救護施設清水園は昭和33年12月に開園いたしましたが、当初、取扱定員100名でスタートしました。そ

さらには、ここ数年は利用者の減少が続いている、当法人の経営にも大きな影響を及ぼしております。今後の安定運営のために、利用者の増加に努めてまいりたいと考えておりますので、これまで以上のご支援、ご協力をお願い申し上げます。そして、皆様にとつて令和8年が健康で笑顔あふれる一年となりますことを、職員一同、心よりお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

けましたが、当園は入所者の生活の場であることから、密接度が極めて高く、一人でも感染者が出ると瞬間に園内に広がるということを令和4年度に経験しましたことから、現在も感染防止のための手指消毒とマスクの着用を義務付けております。新型コロナウイルス感染症の完全な収束はなかなか難しいと思われますが、まずは利用者第一に、本年も関係する皆様からのご協力をいただきながら、より良い一年にしてまいりたいと思います。

その後、昭和45年1月に取扱定員を50名とし、これまで救護施設としての役割を果たしてきました。入所者数の推移につきましては、開園以降、令和3年度までは、概ね年間平均で140名を下回ることはありませんでしたが、令和4年度では137・5名、令和5年度で138・5名、令和6年度で132・5名と減少傾向が続いており、令和7年度には、12月までの平均が116・2名となっています。

この減少の原因を究明し、今後の対策を検討するため、令和7年7月に「清水園あり方検討委員会」を立ち上げ、8月27日と10月7日の2回、社会福祉法人玉社會の理事3名と私の4名で構成する委員会を開催しました。第1回目の委員会では、入所者数の減少は法人の経営にとって死活問題であり、入所者数を今後いかに維持あるいは増やしていくかは最重要の課題であるとのご意見をいただいたところです。このため、新規入所者を増やすため、令和7年10月から県内の精神科の病床がある病院等に営業活動を行い、救護施設清水園のパンフレットをお渡しするとともに、当園の現状と入所に際しての条件等を説明し、入所を希望する方の紹介をお願いしました。また、刑務所等にも同様にお伺いし、お願ひをしております。

また、第2回目の委員会では、事務費加算の状況及び取扱定員を何名にするかを議題としました。救護施設の事務費の加算認定は、入所者数が取扱定員の90%を割り込めば加算認定が行われないため、令和7年度においては、基準日の4月1日の入

所者が121名であつたため、入所率は80.7%となり、事務費の加算認定が行われなくなります。その影響額は約3千万円を超えるものと想定しており、当園にとりまして、非常に大きな影響をもたらします。そのため、取扱定員を減ずることについてご議論いただきました。

結果的には、救護施設清水園の現状等を踏まえ、取扱定員を減ずることは止むを得ないという結論になり、令和7年11月18日に開催された第4回理事会に「救護施設清水園の定員について」の議案を提案し、取扱定員を120名とする旨のご決議をいたしましたところであります。今後、令和8年4月1日からは取扱定員が120名に変更できるよう県と協議を進めていきたと考えています。

次に、救護施設清水園の入所者のための施設の改修についてです。

救護施設清水園の入所者が生活している生活棟は、築後30年を経過し、居室は原則二人部屋でトイレ及び浴室等も老朽化しています。このことが、民間の有料老人ホームとの競合が現実のものとなつている現在、新規に入所したいと見学に来られる方に入所をためらわせる原因の一つとなつていることは否定できません。

そのため、計画等は今から策定しなければなりませんが、入所者の方が「住んでみたい」と思つてもらえて、新規入居者に選ばれるための施設の改修を今後進めてまいりたいと考えています。

以上、私の思いの一端を述べさせていただきましたが、今後とも皆様方の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【役員の紹介】

令和7年6月の定時評議員会をもって、和田弘行理事がご勇退されました。ご健康に留意されまして、

今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。後任には川原正經監事が理事に就任され、監事には前清水園園長の野方宏志氏がご就任されました。任期は、いずれも令和9年6月までとなっています。なお、現在の役員をご紹介いたします。

瀧本 関雄 理事長
三井 貞男 理事
川原 正經 理事
香川 幸夫 理事
赤尾 康造 理事
寺坂 政喜 理事
杉之原智也 理事
勝丸 千晶 監事
野方 宏志 監事
松浦 稔明 名譽理事長

【評議員の紹介】

評議員の方は、各界各層の方々に
お願いをしています。

稻田 修 評議員
濱崎 均 評議員
大林 市子 評議員
泉 浩二 評議員
赤崎 緑 評議員
内田 敏子 評議員
大塚 律子 評議員
三神 有希子
（看護師）
岩崎 恭代
（指導員）
吉田 耕一 評議員
本条 仁史 評議員
評議員

新人職員紹介コーナー

「新しい職場で頑張っています」



中西 佐知子
(保護課主幹)

令和7年4月から保護課でお世話になっています。新しい環境で不安がいっぱいの毎日ですが、先輩方のご指導と利用者の皆さんとの笑顔を支えに日々の業務に励んでいます。これからも皆さんのお役に立てるよう、明るく元気に頑張りますので、よろしくお願いします。



中西 佐知子
(保護課主幹)

令和7年2月からお世話になつております。皆様のご指導のおかげで日々多くの学びと経験を重ねることができます。これまでの経験を活かし安心して任せて頂ける温かい看護を提供できるよう努めてまいります。どうぞ宜しくお願ひいたします。



岩崎 恭代
(指導員)

令和7年5月から清水園でお世話になつております。指導員としての経験はまだまだで、皆様にご迷惑をおかけしていると思いますが、これまでの経験を活かして精一杯頑張りますので、これからもよろしくお願ひいたします。

表彰を受けました

(令和6年4月1日～令和7年12月31日)

令和6年度



澤井 純子
厚生労働大臣
大臣表彰
(R6.11.26)



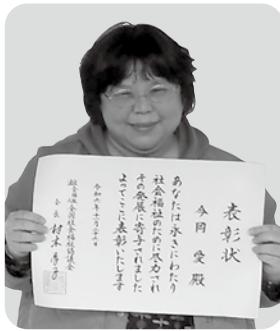
福井 浩之
全国救護施設協議会
会長表彰
(R6.10.17)



津嶋 宏道
全国救護施設協議会
会長表彰
(R6.10.17)



臼杵 聖世
全国社会福祉協議会
会長表彰
(R6.11.26)



今岡 愛
全国社会福祉協議会
会長表彰
(R6.11.26)



金谷 純代
全国社会福祉協議会
会長表彰
(R6.11.26)



宮田 智子
坂出市社会福祉協議会
会長表彰
(R7.11.20)



大上 剛史
坂出市社会福祉協議会
会長表彰
(R7.11.20)



林 和代
香川県知事
知事表彰
(R7.11.11)



鎌田 由実
坂出市社会福祉協議会
会長表彰
(R7.11.20)



上篠 佳昭
坂出市社会福祉協議会
会長表彰
(R7.11.20)



森田 英明
坂出市社会福祉協議会
会長表彰
(R7.11.20)

令和7年度

令和6年度において6名、令和7年度において7名の職員が、各表彰を受賞されました。なお、現在、退職されました。が、令和7年11月20日に大平智子さんが坂出市社会福祉協議会会長表彰を受賞しております。おめでとうございます。引き続いでのご活躍をご期待申し上げます。

◆◆◆ 令和6年度 社会福祉法人玉社会 決算報告 ◆◆◆

貸借対照表

令和7年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	114,204,867	流動負債	25,563,798
固定資産	1,311,365,570	固定負債	27,992,449
純資産の部			
		基本金	489,365,866
		国庫補助金等特別積立金	350,305,490
		その他の積立金	453,169,168
		次期繰越活動増減差額	79,173,666
資産の部合計	1,425,570,437	負債及び純資産の部合計	1,425,570,437

事業活動収支計算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日 (単位:円)

収益の部		費用の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
サービス活動収益	416,818,189	サービス活動費用	427,191,937
サービス活動外収益	1,559,278	サービス活動外費用	60,170
特別収益	0	特別費用	20,935
		当期活動増減差額	△ 8,895,575
合計	418,377,467	合計	418,377,467

資金収支計算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
事業活動収入	418,377,467	事業活動支出	399,102,409
施設整備等収入	0	施設整備等支出	1,030,120
その他の活動収入	1,079,256	その他の活動支出	2,888,893
		当期資金収支差額	16,435,301
合計	419,456,723	合計	419,456,723

思 い 出 フ ォ ト



第65回新春芸能大会

午前と午後に分けて、利用者の踊りと歌で盛大に盛り上りました
(R7.1.30)



お花見

とてもきれいな中庭の桜の花を見ながら
お花見弁当をいただきました (R7.4.2)



地震訓練

(R7.2.27)



七夕祭り

七夕飾りをバックに記念写真を撮りました
(R7.7.1)



地域交流納涼祭

夜に開催されていた盆踊りを中止し、
その代替え行事としてお昼に納涼祭を開催しました
かき氷とたこ焼きを利用者の皆さんに振舞いました
(R7.8.28)



横津獅子舞慰問

横津獅子保存会による慰問を受けました
秋祭りの雰囲気を味わってます
(R7.10.5)



花の日

花の日にあわせ、きんかこども園の園児の皆さん
の慰問を受け、プレゼントをいただきました
(R7.5.8)



職業体験学習

県内の高校生の職業体験として
受け入れを行いました (R7.8.5)



彼岸法要

物故者を悼み、彼岸法要を執り行いました
安らかなるご冥福をお祈りいたします
(R7.9.18)



第41回運動会

午前は、きんかこども園児の鼓笛隊の演奏をはじめ、玉入れの競技を行いました
午後は、入所者による新種目の風船割やパン食い競争等で大いに盛り上りました



清水園と地域を結ぶ会主催の第30回地域交流ゲートボール大会

天候に恵まれ、清水園グランドでゲートボール大会が開催されました
当日は、うどんのお接待が行われるとともに熱戦が繰り広げられました



地域清掃

利用者による清掃を毎月行っています
(R7.11.19)

防火訓練

不測の事態に備え、訓練を行いました
(R7.11.19)



レクレーション

春と秋に分けて県内の商業施設等を訪れ、
食事や買い物を行っています (R7.11.26)





第67回開園記念行事

開園を記念し、様々な催しを毎年行っています
新型コロナウイルス感染症防止のため、
ソーシャルディスタンスをとりつつ
映画鑑賞も久しぶりに復活しました
(R7.12.4)



主 な 催 し		令和7年1月1日～令和7年12月31日	
1月1日	初詣(白峰宮)	8月5日	「福祉・介護の仕事」職業体験研修
1月28日	坂出崇徳院の会	8月24日	西庄地区社協ふれあい盆踊り大会
1月29日	地域清掃活動	8月28日	地域交流納涼祭
1月30日	第65回新春芸能大会	9月18日	秋の彼岸法要(善教寺)
2月9日	第35回坂出天狗マラソン大会出店参加	9月24日	地域清掃活動
2月26日	地域清掃活動	10月2日、6日、22日	秋のレクレーション (レオマワールド、イオン綾川、イオン高松)
2月27日	地震訓練	10月5日	横津獅子同好会慰問
3月7日	社会福祉法人玉祉会第4回理事会	10月9日	八十場老人会交流ペタンク
3月12日	第29回地域交流ゲートボール大会	10月9日～10日	八十場老人会交流ペタンク
3月13日	八十場老人会交流ペタンク	10月15日、23日	第46回全国救護施設研究協議大会 (ラム一坂出・ハローズ林田)
3月17日	春の彼岸法要(善教寺)	10月29日	第41回清水園運動会
3月19日	防火訓練	10月30日	地域清掃活動
3月28日	地域清掃活動	11月6日	第30回地域交流ゲートボール大会
4月2日	園内花見	11月10日	秋の大掃除
4月23日	春のレクレーション(イオン高松)	11月11日	香川県社会福祉大会
4月25日	地域清掃活動	11月12日、17日、26日	秋のレクレーション (イオン綾川、レオマワールド、四国水族館)
4月27日	天皇さんで春市 出店参加	11月13日	八十場老人会交流ペタンク
5月4日	きんかこども園 花まつり慰問	11月18日	社会福祉法人玉祉会第4回理事会
5月8日	八十場老人会交流ペタンク	11月19日	第2回評議員会
5月14日、19日、29日	春のレクレーション (レオマワールド、イオン綾川、ゆめタウン高松)	11月20日	防火訓練
5月28日	地域清掃活動	11月27日	坂出市社会福祉大会
5月30日	社会福祉法人玉祉会第1回理事会	12月1日、10日	地域清掃活動 (イオン綾川、ゆめタウン丸亀)
6月5日、11日、16日	春のレクレーション (イオン綾川、ゆめタウン丸亀)	12月4日	第67回開園記念行事
6月18日	春の大掃除	12月6日	餅つき大会 (坂出ライオ・inzクラブの慰問)
6月25日	地域清掃活動	12月11日	きんか祭
6月23日	社会福祉法人玉祉会第2回理事会・ 第1回定時評議員会・第3回理事会	12月22日	香川DWAT活動訓練
7月1日～7日	七夕祭り	12月23日	地域清掃活動
7月10日	胸部検診		
7月17日～18日	第54回中国・四国地区救護施設 研究協議大会		
7月25日	清水園と地域を結ぶ会理事会・総会 坂出崇徳院の会		

清水園と地域を結ぶ会

り承認されました。今年度は役員改選の時期となつており、理事会・総会において稻田会長が再任されました。また、副会長に坂出市連合自治会長の入江正憲氏が再任されるとともに西庄地区老人クラブ連合会会長の乃村政清氏が新たに選任されました。また、監事に丸橋通良氏が再任されるとともに野方宏志氏が新たに選任されました。令和7年度の事業として、例年7月に開催されている施設交流カラオケ大会は新型コロナウイルス感染予防のため中止予定とし、清水園運動会は10月に開催、地域交流益踊り大会は新型コロナウイルス感染予防及び熱中症予防等のた

清水園と地域を結ぶ会理事会・総会が令和7年7月25日(金)午前10時から清水園において開催されました。令和6年度事業報告、収支決算及び令和7年度事業計画、収入・支出予算等が提案され、全議案が原案どおり

め当分の間中止とすることが決定され、代替事業として納涼祭を開催することといたました。また、その他の各種の交流事業もコロナの感染状況を見ながら、開催していくこととなりました。



令和6年度 収入・支出決算書

(单位: 田)

収入の部

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引額 (A-B)	摘要
会 費	400,000	400,171	▲171	一般会員 17 賛助会員 16
寄付金	0	15,000	▲15,000	
雑収入	10,000	24,874	▲14,874	利息、ゲートボール大会参加費 車代戻入
繰越金	1,576,626	1,576,626	0	
合 計	1,986,626	2,016,671	▲30,045	

支出の部

(単位: 円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引額 (A-B)	摘要
事務費	150,000	20,962	129,038	
事業費	780,000	342,871	437,129	
予備費	1,056,626	0	1,056,626	
合 計	1,986,626	363,833	1,622,793	

収入額 2,016,671 円
支出額 363,833 円
繰越額 1,652,838 円

餅つき大会（坂出ライオンズクラブ）

令和7年12月6日に坂出ライオンズクラブの方々が来園され、餅つき大会を開催していただきました。入所者の餅つきが行われ、その後に、あん餅等が作られ、入所者にふるまわれました。そして、美味しくいただきました。



ご厚志
ありがとうございました

（ご寄付いただきました
令和6年4月1日から
令和7年12月31日まで
の日付順となります。）

香川県社会福祉協議会様

山 口 和 彦 様

松山連合婦人会様

西庄連合婦人会様

坂出中央婦人会様

イオンモール綾川様

王 越 婦 人 会 様

和 田 弘 行 様

峯 食 糧 販 売 所 様

国際ソロプロミスト坂出様

編集後記

令和4年と言えば、今から4年前になります。その時に、救護施設清水園においては、未曾有の新型コロナウイルスの大規模クラスターに約2か月間見舞われました。その時は、職員一丸となり、献身的な活躍により、どうにか入所の方々の命と生活を守り切ることができました。

その後においては、単発的に新型コロナウイルス感染者が発生することがあります。が、令和4年の時の経験等から、直ちに隔離を行うなど大規模クラスターには至っておりません。

また、最近、インフルエンザが流行しております。現在のところ（令和7年12月31日現在）、当清水園において入所者の感染者は発生しておりません。今後においても、徹底した手指消毒やうがい等により感染を防止してまいりたいと考えております。

さて、本年は午年となります。午年は、前進と力強さを象徴するといわれます。

本年も、入所者の皆さまの生活を支える取り組みを、地域の皆さまのご理解とご協力のもと、着実に進めてまいりますとともに安心して過ごせる環境づくりと、より良い支援の充実に努めてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

園長 杉之原智也